

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04 高齢者福祉
事務事業名	11	老人医療給付事業	
根拠法令・例規等			備前市老人医療費給付条例
問 担当課(室)			保健課
合 職・氏名			保険医療係長・大峠一吉
先 電 話			0869-64-1819
このシート作成に要した時間			1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	65~69歳の寝たきり・一人暮らし老人(ただしS16.9.30以前生まれの者)
目的(何のために)	高齢者の適切な医療の確保を図るため、医療費の一部を給付することで高齢者の福祉増進に資する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	高齢者のうちで社会的弱者に対して適切な医療の確保を行うことで疾病の重症化を防ぐ。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	老人医療給付事業	68歳、69歳の一人暮らし高齢者に係る医療費を支給する。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		目標値(A)	21	21	21
年間1人当たり支給件数	実績値(B)	10.85	37.36	36.00	到達目標値
	達成率(B/A)	51.67%	177.90%	171.43%	21

医療費支給件数/受給資格者数
対象となる受給者への適正給付に努める必要があることから給付率を指標としている。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	制度終了まで適切な制度運営に努める。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	4,846	1,848	705
	必要人員(人件費)	千円	0.05人	308	78
	事業費計	千円	5,154	2,151	783
	国県支出金	千円		924	352
	受益者負担	千円			
	繰入金(市)	千円			
その他()	千円				
一般財源	千円	5,154	1,227	431	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	受給資格者数	説明	1人当たり単価		
	結果指標量	人	109	11	5
	対前年比	%	-	10.1%	45.5%
	活動コスト	円	5,154,000	2,151,000	730,000
単位当たりコスト	円	47,284	195,545	146,000	

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
岡山県老人医療費公費負担補助制度は平成23年9月末で廃止されることになっており、老人医療費給付事業も廃止する。	評価区分 <A~E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	平成23年10月から事業廃止。給付遅れに対応する。					